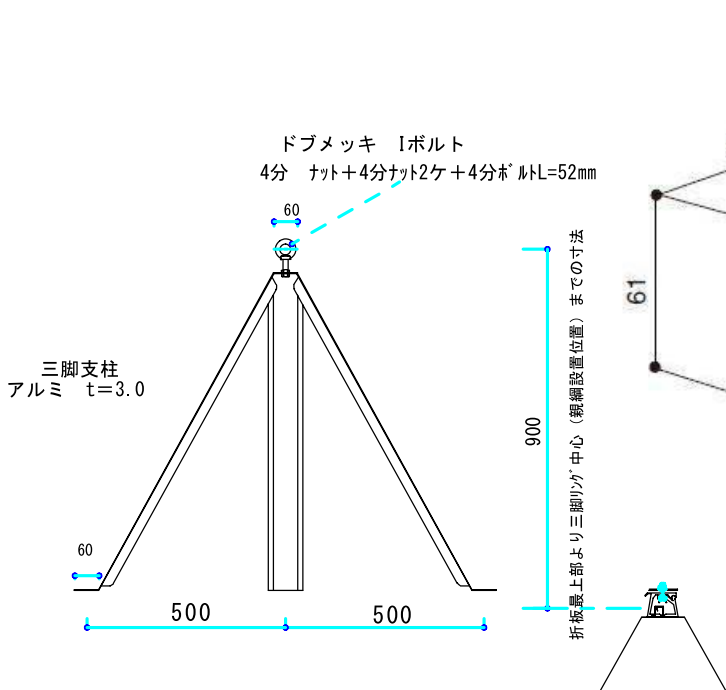
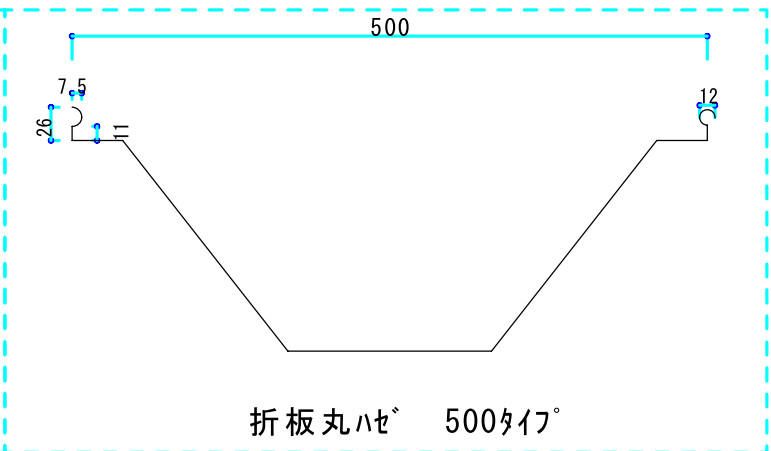
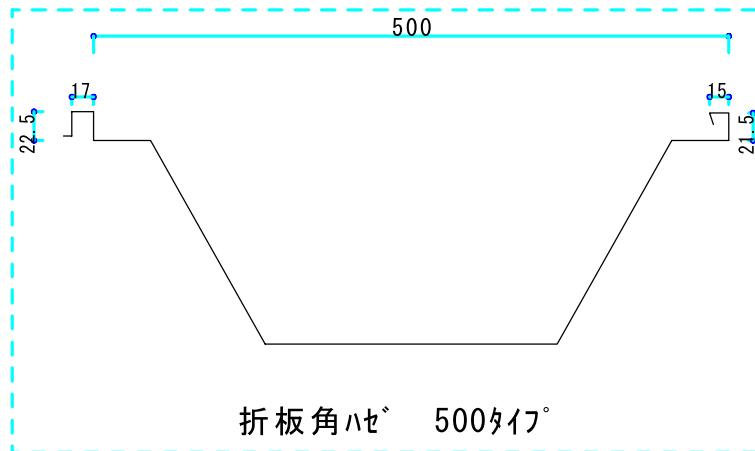


N0、7 アルミ 3 型 角丸兼用

角ハゼ 折板

丸ハゼ 折板

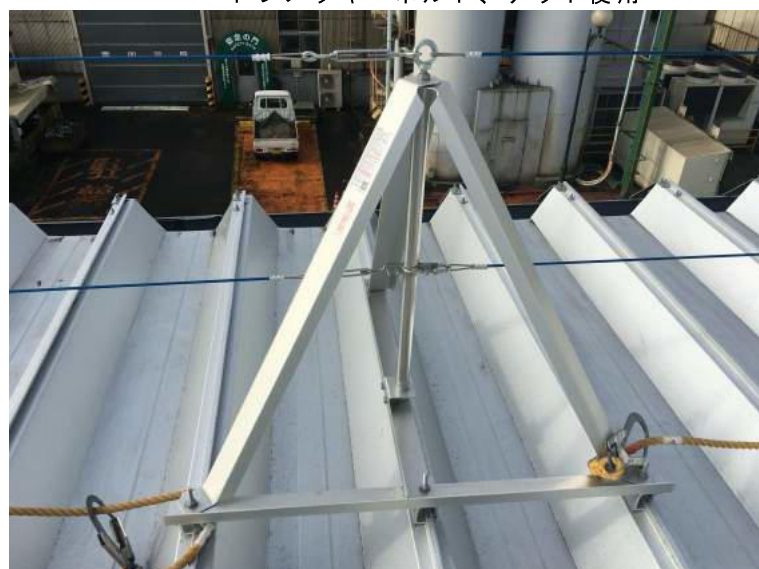


折板つかみ金物
角丸ハゼ 兼用
元旦ヒューテック工業(株)
アルミ材
108



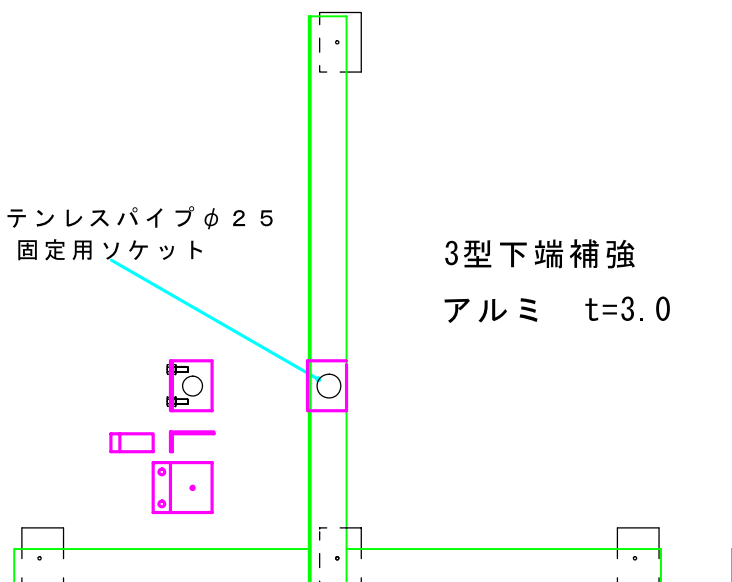
保護用ゴムシートなし

センターポール付き
ドブメッキ ボルト、ナット使用



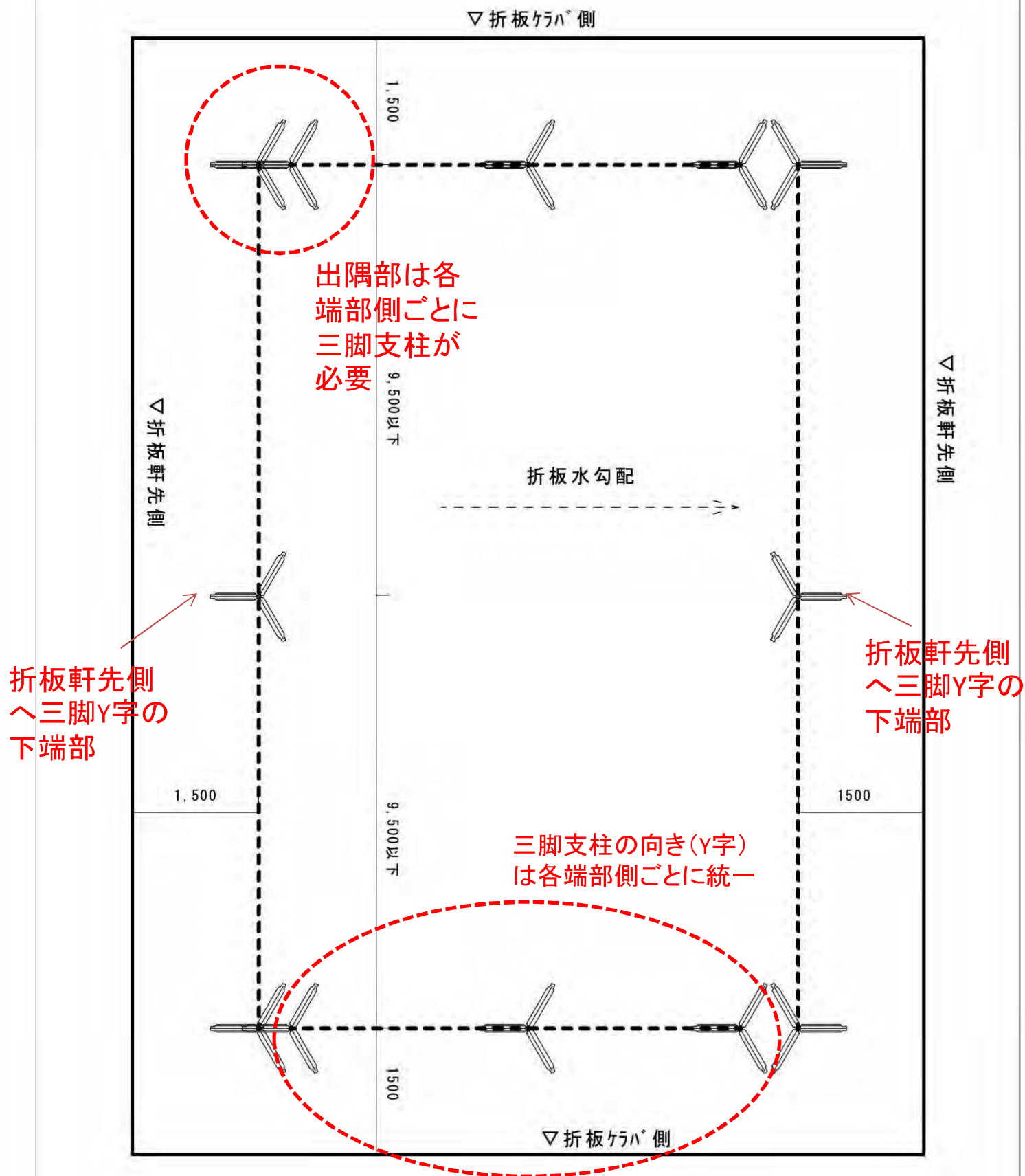
ステンレスパイプφ25
固定用ソケット

3型下端補強
アルミ t=3.0



三脚支柱(墜落防止用)取付 平面図

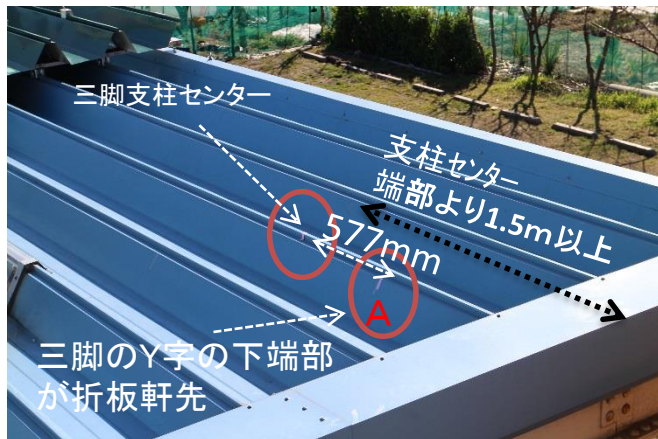
別紙⑤



C 三脚支柱 取付手順

(アルミ3型 角丸兼用)

① 取付位置墨出し



三脚支柱のセンター位置(頂点)を折板のハゼ部にマーキングし、そこから577mm離れたAの位置(センターポール取付金物位置)をマーキングする(三脚のY字の下端部が折板軒先側にくるようマーキング) センターの位置は端部より1.5m以上離してください

② T字補強金物取付

(センターポール取付金物付き)



Aの位置(センターポール取付金物位置)がT字補強金物の頂点にくるようT字補強の掴み金物をインパクトにてしっかり固定する(締付けトルクはトルクレンチにて55N・mとする)

③ 三脚支柱組立て



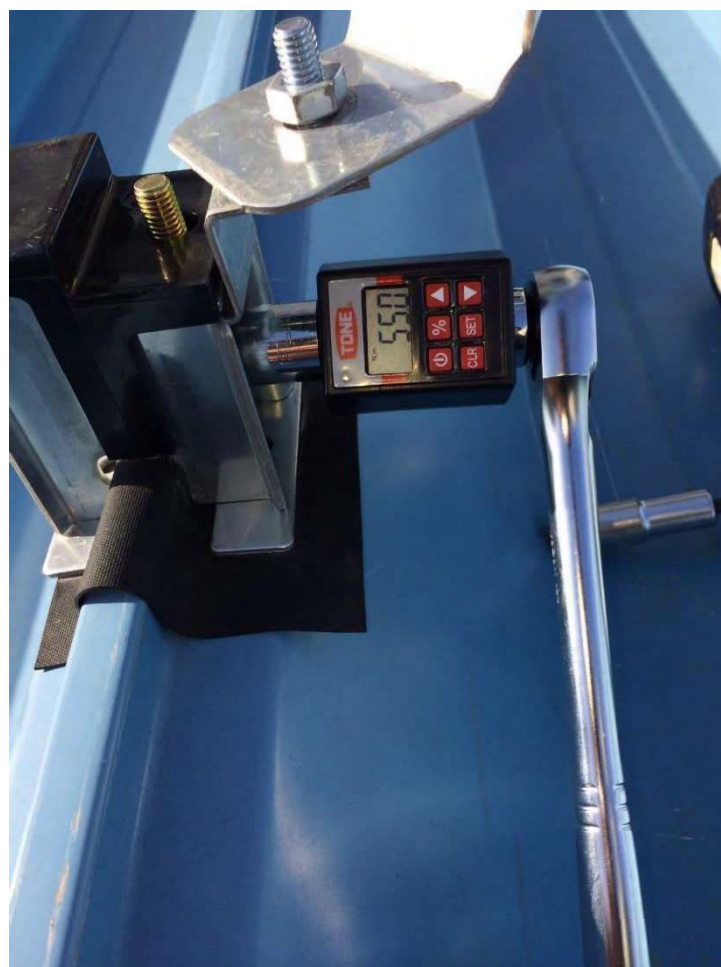
支柱本体のシールが見やすい位置にくるよう三脚をT字補強の掴み金物各ボルトに取付け、上部Iボルト下の平ワッシャーとナット2つ、を外し、上部Iボルト下のナットをインパクトの21mmのソケットで締め、左の画像のようにナット、平ワッシャー、ナットとなるよう下から固定

④ 三脚支柱とポール取付



センターポール上部をIボルト下の平ワッシャーに差し込みながら、T字補強金物センター付近の穴にセンターポールの穴あき金物をボルトで固定する。ケラバ側のポールは左の画像のように排水バンドをポール上部の三脚支柱の本体の隙間に取付けポールがまわらないように固定(ワイヤー2段設置の場合)

掴み金物は55N・mにてナットを
締めて下さい



トルクレンチにて締付けトルクを管理し
て下さい(L=25cmのシノで約22kgで
しめる力)

取付及び使用する前には必ず使用基準をお読み下さい

- 1 衝撃するおそれのある床面等より **4m以上の高さ**が折板の上部で確保されていること
フルハースタイプ[®]の安全帯使用時には、**4.5m以上の高さ**を確保すること（平成 28 年 4 月追記）
- 2 折板の形状は角ハゼ[®] 500（300）、丸ハゼ[®] 500（300）、BL500、ルーフィックとし、それぞれ指定した掴み金物を使用すること（掴み金物の取付困難な折板及びへこみ等で変形した折板には使用禁止）
- 3 掴み金物と折板の隙間は専用の保護ゴムシート t=1.2 mmにて養生すること（1 型のみ）
- 4 三脚支柱の間隔（1 スパン）は **9.5m以内とし、1 スパン 1 人**までで使用する
- 5 三脚支柱の中心が折板端部（軒先、ケバ[®]、開口部）より離れ **1.5m以上**離して設置すること
- 6 必ず支柱用親綱はポリエステル製φ16（仮設工業会認定品）を使用し（ワイヤーロープ等は使用禁止）緊張器にて十分緊張させること
- 7 折板施工時、三脚支柱を設置する場合は、掴み金物を取付ける箇所より流れ方向上下 **4m以上連続ハゼ[®]締め完了後**、掴み金物を取付けること
- 8 墜落等で衝撃を受けた支柱及び変形をした掴み金物は使用しないこと
- 9 設置及び撤去作業時は**保護手袋**を着用すること
- 10 丸ハゼ[®]、BL500 の掴み金物の取付方向は別紙③、④にて確認が必要（下記 QR コード[®]内の別紙参照）
- 11 安全帯（ランヤード[®]長さ L=1.7m以下）、支柱用親綱は安全性の確認されたものを使用すること
- 12 折板屋根の勾配は 10%以下とします
- 13 三脚支柱の上部リングに直接安全帯を使用しないこと
- 14 折板**出隅部の三脚支柱の設置は下記 QR コード[®]内別紙⑤**の基準による
（**出隅部は三脚支柱が連続して 2 脚必要**）
- 15 三脚支柱、掴み金物等部材は放り投げたり衝撃を与えないこと
- 16 掴み金物を折板に固定するトルクは **5.5kN・cm** とすること
- 17 親綱、安全帯等が落下衝撃により折板の端部等にて損傷されるおそれがある場合は事前に養生等を行うこと、又タイトフレームのスパ[®]ンや折板の板厚等により落下衝撃による折板の損傷具合は異なる
- 18 下記 QR コード[®]内の三脚支柱取扱説明の各資料を確認すること
- 19 三脚支柱使用時はフルハースタイプ[®]の安全帯の使用を推奨とする。



三脚支柱 取付向き

1型、2型、3型共通事項

別紙⑦

